

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2021 No.59

inaokigakuen news letter



巻頭

新年メッセージ

特集1

内山壮真くんが
東京ヤクルトスワローズより
ドラフト3巡目指名!

特集2

CDP合格状況

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

Amitié Seiryo ～星稜の友～

総合研究所・地域連携センターだより

星稜Pick up/星稜Information

一人ひとりが輝く
2021年に!

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中!

詳しくはP18をご覧ください

新年メッセージ



新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの脅威に世界中が翻弄された一年でした。本学園でも4月乃至5月は、県下の「緊急事態宣言」を受け、学校休業等、学生・生徒等の教育活動に支障をきたす事態を余儀なくされました。一方、緊急事態宣言解除後は3密の回避や遠隔授業等の実施など、学園を挙げた感染症拡大防止策を徹底し、後期からは対面授業を中心とした平常体制で教育活動を行うことができました。これも偏に、保護者、学生・生徒等及び学校関係者の皆様の御理解と御協力の賜物と感謝申し上げます。

さて、本学園は2022年度に「学園創立90周年」を迎えます。

人間でいうと「卒寿」(90歳)にあたり、囲碁の世界では、碁盤の星(黒い丸)が9つあることから「星寿」とも呼ぶそうです。

稲置学園が約90年にわたり教育に従事してこられた理由は、地域の方々からの御支援のおかげであると感謝しております。

そして、初代理事長稲置繁男が、1932年10月に北陸明正珠算簿記専修学校を金沢市に創設して以来、建学の精神である「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を、本学園の教職員の皆さんが連綿と受け継ぎ実践し、学生・生徒、園児達がそれを具現化してくれた結果であると考えております。

90周年は100周年(星稜1000年ビジョン)への通過点に過ぎません。学校法人稲置学園には、創立100年に向けて、学生・生徒、園児ら在学生及び教職員、卒業生の方々、御支援いただいている多くの方々と一緒に、「北陸を代表する総合学園」に成長するという使命があります。

この使命を達成するためには、「学生・生徒、園児が自由闊達に多様な能力を伸ばせる学園文化や教育システムを築くこと」と、そして「教職員の皆さんが仕事に誇りとやりがいを持ち、安心して働ける職場を維持・向上させること」が必須です。そのためにも「学園の秩序の維持に努め、規律ある組織の構築」にこれからも取り組んで参ります。

新型コロナウイルスは未だ収束の目途が見えず、心身ともに厳しい状況はこれからも続くと思われます。本学園も、学生・生徒、園児及び教職員等の結束を強めることでコロナ禍を乗り越え、教育機関として今まで以上に充実した教育システムへと成長し、規律ある組織を築くことができれば、稲置学園は真の教育機関として社会にも認められるでしょう。

私は、その実現のために、全力を尽くします。

そして、共に歩んでくれる皆さん(学生・生徒、園児及び教職員等)の誠実さと勇氣に期待しています。

学校法人稲置学園 理事長 稲置 慎也

星稜高校野球部

内山壮真くんが

東京ヤクルトスワローズより

ドラフト3巡目指名!

星稜中学校では軟式野球部に所属し、星稜高校入学後は1年から4番を任されてきた内山くん。先輩の引退後はキャプテンとしてチームをリードし、今秋、待望のプロへの道が拓けました。

ドラフト会議から約1カ月、今の気持ちは?

仮契約やメデイカルチェックなども済み、徐々にですが実感は湧いてきています。今はプロに向けた準備、特に「体力づくり」と「振る力」を鍛える練習に集中しています。奥川さんや山瀬さんはじめ、先輩方からもご連絡をいただいて、プロになる意識というものを感じていますね。

星稜での6年間の野球生活を振り返って

一番嬉しかったのは、やはり甲子園で優勝できたこと、逆に悔しいことはいくつもありましたが、最後の夏に日本航空石川に負けたことです。今この6年間を振り返ると、野球の技術はもちろん、人間性など、星稜でなければ学べないことが沢山ありました。星稜で野球ができたからこそ身に付いたものは数えきれません。

奥川さんとの「星稜バッテリー」として期待されることに対して

自分自身、奥川さんと1軍の舞台で活躍することを目標としているので、その期待に少しでも早く応えられるように、できることから取り組みたいなと。今はプレッシャーというより楽しみの方が大きいですね。



キャッチャーはレギュラーに定着するのが大変なポジションだと言われているので、日々の練習からいろんな技術を身に付けていきたいです。

プロの世界に入って目標とする存在についてヤクルトスワローズで活躍された古田敦也さんは、キャッチャーとしての技術力を多くのさんから評価されていて、しかもバッターとして首位打者にもなっています。古田さんのような「打てるキャッチャー」を目標にしています。

今後の意気込みと応援してくれる皆さんへのメッセージをお願いします。

1年目からプロの世界で活躍して、奥川さんとのバッテリーを早く見たいという期待にしっかりと応えられるように、これから頑張っていきたいと思っています。応援よろしくお願いします!

Q1 好きな食べ物は?

一つに決められません!笑

Q2 苦手な食べ物は?

温泉卵。

Q3 好きな教科は?

国語。

Q4 苦手な教科は?

数学。

Q5 宝物は?

誕生日に両親からもらった絵。

Q6 自分の性格を一言で表すと?

初対面の人の前ではクールです。

Q7 旅行に行くならどこへ?

ハワイ、モデルアイブ。

Q8 休みの日は何してる?

映画鑑賞。

Q9 もし野球をしていなければ何をしていた?

空手。

Q10 座右の銘は?

至誠一貫。

内山くん
10の質問!

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部 《2020年度 公務員・教員・税理士試験合格者報告》

公務員採用試験(大学)

1次試験合格率:94.2%(行政・公安職 93.3%、保育士 100%)
2次試験合格率:79.7%(行政・公安職 76.7%、保育士 100%)

国家公務員総合職(大卒)	1名
国家公務員一般職(大卒)	10名
国税専門官	26名
裁判所職員一般職(大卒)	5名
刑務官	1名
石川県(行政)	4名
金沢市(事務)	8名
白山市(行政)	1名
能美市(行政)	1名
小松市(行政)	1名
かほく市(一般事務)	1名
津幡町(一般事務)	1名
石川県警察官(男性)	4名
石川県警察官(女性)	4名
富山県警察官(女性)	1名
金沢市(消防)	3名
富山市(消防)	1名
金沢市(保育士)	6名
富山市(保育士)	1名
砺波市(保育士)	1名
目黒区(福祉)	1名

(特殊法人・外郭団体)

河北都市広域事務組合	1名
石川県信用保証協会	2名

公務員採用試験(短大)

1次試験合格率:91.7%
2次試験合格率:75.0%

国家公務員一般職(高卒)	3名
税務職員	2名
裁判所職員一般職(高卒)	1名
石川県(小中学校事務)	2名
金沢市(事務)	1名
かほく市(一般事務)	1名
津幡町(一般事務)	2名
富山県(一般事務)	1名

税理士試験(科目合格者)

簿記論	6名
財務諸表論	2名
(合格者のうち1名は簿記論、財務諸表論 2科目同時合格)	

教員採用試験(現役学生)

1次試験合格率:85.7%(小学校87.9%、中高保健体育66.7%、
中高英語100%、高校商業100%、社会公民0%)
2次試験合格率:81.8%(小学校88.2%、中高保健体育33.3%、
中高英語75.0%、高校商業100%、社会公民0%)

石川県公立小学校	22名
富山県公立小学校	7名
福井県公立小学校	4名
新潟県公立小学校	3名
京都府公立小学校	2名
千葉県公立小学校	3名
静岡県公立小学校	1名
高知県公立小学校	1名
新潟県公立中高保健体育	1名
石川県公立中高英語	1名
富山県公立中高英語	2名
神奈川県公立中高英語	1名
石川県公立高校商業	2名

教員採用試験(卒業生)※実数

石川県公立小学校/公立中高	17名
富山県公立小学校/公立中高	3名

C D P 受講生(現役学生)105名合格
難局を突破し、
過去最高の合格者数を達成!

※合格率は、2020年度CDP受講者に対する割合

※人数は、最終合格者のべ数(2021年1月6日現在)



オンラインでの面接練習の様子

今年度は、試験直前期の新型コロナウイルス感染症の影響により、試験の延期や大学施設の利用制限、遠隔授業の実施による自宅学習を強いられ、受験生にとって非常に厳しい環境となりました。特に試験日程の変更は、日程の長期化や試験の重複などに大きく影響し、モチベーションの維持や個人学習など、不安な気持ちと闘いながら試験を迎えました。そのような中、エクステンション課では感染予防対策を行いつつ、可能な限り受験生へのサポートを実施しました。授業のオンデマンド実施、仮設テントを利用した模擬授業の練習場所の確保、非対面に対応した面接練習のWeb予約、リモート環境を利用した講義や面接練習の実施、他県受験者への受験地までのバス送迎、教材の郵送や課題の添削など、スタッフ全員で知恵を出し合い対策をしてきました。結果として、前年を超える105名がこの難局を突破し、合格を掴み取りました。本当におめでとうございます。

今回のコロナ禍における緊急事態の対応は、様々な問題が発見できたと同時に、新たな展開を考える機会となりました。今回の経験を糧に、これまで以上の学習環境を整備してまいります。また、今年度は14名の星稜高校出身者が合格しましたので、皆さんからのメッセージをご紹介します。

星稜高等学校出身者の声

生まれ育った地元就職することで地域に貢献したいと考えたのが、金沢市を目指したきっかけです。3年次の夏に参加したインターンシップで、金沢市は被災にあわず、江戸時代からの街並みが残る「歴史に責任を持つべきまち」であり、私が金沢らしさを感じていた街並みかのようにして守られ継承されているのかを知って、私も携わりたいたいと思うようになりました。



紺島 櫻さん
経済学部
経済学科

金沢市(事務)合格

1年次のときからあきらめずに勉強を続けてきて良かったです。どの職種を選択するべきかと悩みましたが、最終的には説明会やインターンシップに参加したときの印象や資料などを参考に、自分が将来働くことを意識して選択しました。合格したことで、自分の決断は間違っていないかと思うことができました。



玉木 ゆうかさん
経済学部
経済学科

裁判所職員一般職 合格

北陸農政局を目指したのは、飲食のアルバイトがきっかけです。日本は食料自給率が40%を切るほど低いのに対して、食べ残しや廃棄などの食品ロスが多いと感じ、これからの日本の「食」を支えたいと思いました。また、業務説明会の際の職員の方々の雰囲気がとても良く、自分も働くなら雰囲気の良い環境で働きたいと思いました。



澤本 依吹さん
経済学部
経済学科

国家公務員一般職(北陸農政局) 合格

金沢市(事務) 合格



山下 拓海さん
経済学部
経済学科

金沢市に決めた理由は、生まれ育ってきた地元で地域に密着した仕事をする事で、地域の発展に一番貢献できると考えたからです。それに、市民に近い距離で仕事したいというのもありました。また、現職の職員から話を聞く機会があり、地域に密着した仕事内容だけでなく、2〜3年で異動があるため、様々な仕事を経験できるところにも魅力を感じています。

能美市(行政) 合格



南 依里さん
経済学部
経済学科

自分の中で特に支えられたのは、CDPと一緒に受講している友達です。モチベーションが上がらないときでも、友達の勉強している姿を見て頑張ろうと思えました。一緒に頑張れる友達がいなかったら、またCDP担当の先生の「最後まであきらめずやり切った人が合格する」という言葉を信じ、最後まで続けることができました。皆さんも最後まであきらめず頑張ってください。

金沢市(消防) 合格



松田 圭以さん
経済学部
経済学科

合格するまでは、今の勉強方法で大丈夫なのか、合格できなかったらどうしようなど、不安な日々を過ごしました。しかし合格と聞いたとき、今までやってきたことは決して無駄ではなかったと思いました。皆さんも、これからの将来のことなどで悩んでいる方も多いと思いますが、何事も前向きにとらえて行動し、自分の将来への可能性を切り開くことを信じています。

河北郡市広域事務組合 合格



新田 順之介さん
経済学部
経営学科

受験全般で苦労したことは、モチベーションの維持と試験日が近づいてくることへの焦りでした。モチベーションは、試験に合格した後にはいいことを考えたり、友人と話をしてみてもっと頑張らないといけないという風に考えたりして保っていました。また、焦りについては、その日に行うことを決め、それを達成することで緩和していました。

石川県信用保証協会 合格



藤田 彩花さん
経済学部
経営学科

合格したときは、今まで支えてくれた家族や友人、先生方に「おめでとう」と言っていたら、多くの人に支えられているのだと改めて実感し、感謝の気持ちが溢れました。自分が成長するための様々な経験から自分自身の将来を意識することで、充実した大学生活が送れると思います。そして、多くの人の関わりの中から学ぶことが重要だと感じています。

石川県公立学校 合格



出雲 穂香さん
人間科学部
こども学科

私は小学生の頃の恩師に憧れを抱いたことがきっかけで、小学校教諭になりたいと思うようになりました。大学に入り、小学校ボランティアや教育実習を通して、子ども達の成長を間近で感じる喜びを経験したことで、実際に子ども達の成長に携わることができるところに教員としてのやりがいを感じ、この職に就きたいという気持ちが強くなりました。

石川県公立学校 合格



岡田 彩香さん
人間科学部
こども学科

私が後輩に伝えたいことの一番は「何か自分の強みとなるものを見つけること」です。一番は「一緒に頑張れる仲間を見つけること」です。サークルや課外活動、アルバイトなど、将来のためになることや新しいことにぜひ挑戦してほしいです。また、情報共有やモチベーションアップにも、仲間の存在は偉大です。充実した大学生活・就職活動になるよう頑張ってください。

石川県公立学校 合格



小川 真祐さん
人間科学部
こども学科

自分が得意な科目は、その科目が苦手な友人に教えることで知識を再確認する機会になり、自分にはない考え方を体験することでより深い理解にも繋がるのでおすすめです。勉強や面接練習、模擬授業はただ数をこなせばいいというわけではなく、自分に必要なものを判断して効率よく勉強してください。努力した時間は絶対に裏切りません。

石川県公立学校 合格



越野 菜裕さん
人間科学部
こども学科

合格したときは、今まで一番嬉しかったです。それと同時に、今まであきらめずに頑張ってきた努力が報われたと思います。それに、大学生活の様々な出来事がよみがえってきて、切磋琢磨してきた友人も含め、周りで支えてくれた人達のおかげでこの合格をつかみ取れたのだと実感しました。本当に周りの人達には感謝があります。

石川県公立学校 合格



山崎 葵さん
人間科学部
こども学科

教員の仕事の魅力は、子どもの日々の成長を間近で見ることができるところです。教育実習では、子ども達の嬉しそうな反応や「できた」と喜んでる姿を見ることができ、仕事のやりがいを感じると同時に、改めて私は子どもが好きだと実感しました。これから児童と共に成長しながら、児童達の心の拠り所となる教員になりたいです。

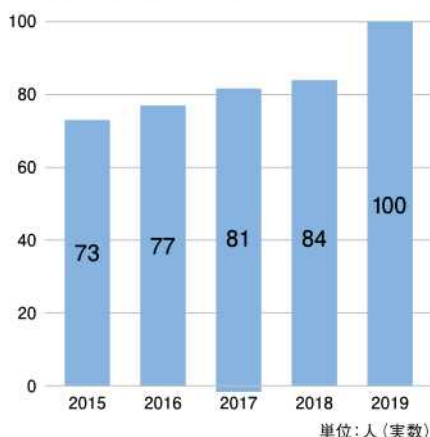
千葉県公立学校 合格



西竹 亮真さん
人間科学部
こども学科

家族は、最初は私が県外に行くことを心配している様子でしたが、県外で子ども達のために頑張りたいと伝えると、「応援する、頑張れ」と背中を押してくれました。県外の子とも達と関われることや、県外の教育を知ることができると、県外で働くことに自分でもワクワクしています。多くのことを学び、いい先生になれるように一日一日を大切にします。

■CDP合格者数の推移 (2015~2019)



生徒のやる気を引き出し 国語が好きになる授業を。

星稜中学校
熊谷 琴実 講師

「諭す」と「フォロー」を
ワンセットにして指導

私は星稜中学校・高校で国語教諭として勤め、今年で5年目となります。教科の特性上、中学も高校も授業を受け持つうえ、特に中学は今年度、担当クラスでは週4コマの授業を受け持っています。

授業で一番心がけているのは、国語に興味を持ってもらうこと。国語というのは、数学や英語とは違って得意・苦手がつきりしない教科だと感じています。そこで積極的に発言を促したり、生徒同士で討論する場を設けたりと、「参加型」の授業になるよう工夫しています。加えて高校生は受験があるため、定期試験や模試も視野に入しながら、覚えておくべき内容を授業中に適宜説明しています。生徒にとって実用性が高い情報が入った授業は、皆退屈せず聞いてくれます。

生徒への指導全般で気をつけているのが、諭すこととフォロー。何か悪いことをした際、「ただ謝ればいい」と思っただけで済まない、上の立場から叱りつけるのではなく、生徒自身が自責の念を抱いてくれるように諭します。そしてそのうえで、どんな小さなことでもいいから褒めるようにしています。そうすることでやる気が引き出せますし、自己肯定感も育めます。さらには私達教員が生徒一人ひとりに目をかけていることを本人に感じてもらうのではないのでしょうか。



今年度から中1クラスの副担任に。生徒と年齢に近いこともあり、皆さんと話してくれました。

誕生日のサプライズが
嬉しく、一体感にも感激

私が教師を志したのは小学生のとき。当時の担任の先生がとても優しく、親しみやすく、憧れの存在でした。そんな人に私もなりたいと思い教師を目指し、秋田県出身ですが石川県の大学に進学。教職免許を取得し、地元も含めて就職先を探していたころ、大学の先輩から星稜を紹介していただき、勤めることになりました。実は他校からのお誘いがあつたのですが、星稜を選んだのは中学もあること。ずっと中学教諭に就きたいと考えていたので、星稜のお声がけは渡りに船でした。

そして星稜の生徒達はとても良い子ばかりで、本当にここに入ってよかったと感じています。以前、私の誕生日のとき、中学の授業でクラスに入った

ら真つ暗。皆でバースデーソングを歌ってくれ、お祝いしてくれました。心から嬉しかったですし、そんなサプライズができる、一体感あるクラスの良い雰囲気にも感動しました。

今後は自分自身の知識も経験ももっとと深めていきたいです。過去に教えられた国語の先生方を思い出すと、授業が面白かった先生は、合間に話される余談がとても興味深く、「何でもそんなことをご存じなのか」という話が次々と出てきました。そんな先生方に少しでも近づけるよう、いろいろなことに興味を持ち続けて、それをどんどん生徒に還元していきたいです。

国語の授業では方言を取り入れることもあり、出身地の秋田弁を話してとリクエストされることもあります。



短大 学生に明るい火を灯した流星祭「Relight」！
柔らかな日差しが注ぎ、心地よい風が吹く秋晴れの下、
第19回流星祭が行われました。

コロナ禍で、学生・教職員
及びその家族のみが入場可と
制限された今年の学園祭。
開催することについて、実
行委員会の学生が春先から何
度も打ち合わせを重ね、警備
や徹底した消毒作業などの感
染対策を取ることで、規模を
縮小しながらも無事に開催す
ることができました！



学生が運営するステージ企画では、例年行われていたカラオケ大会やコスプレ大会などは行わず、ダンスサークルやCRASHによるダンスライブを始め、ファッションショーなどのオンラインでも視聴が楽しめる、魅せる発表型の企画を実施。毎年恒例のアーティストライブも中止となりましたが、芸人のフルーツポンチのお二人やラストアイドルの長月翠さんをゲストとして招いて、ステージMCや学生との交流も多く実現され大盛況に！



今年度に入って初めて行われた学内全体の学校行事ということもあり、学生の笑顔溢れる時間となりました！
屋台・模擬店数も全体としては昨年の半数の出店となりましたが、揚げ物やスイーツなど、簡易的に調理できる食品を提供することに限定された店舗で運営するなど、コロナ禍で学内イベントの中止が相次ぐ中、工夫を凝らし、感染防止策を徹底することで実現できた今回の流星祭。例年とは異なる形での開催となりましたが、学生にとっては学生生活の貴重な一幕になりました！

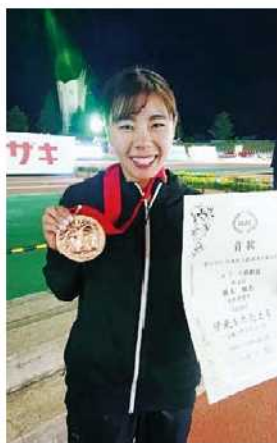


★ 全国大会出場・表彰 おめでとう！

第57回全日本トランポリン選手権大会
男子個人の部 第2位
人間科学部スポーツ学科 4年次 宮野冬馬



第104回日本陸上競技選手権大会
女子七種競技 第3位
経済学部経済学科 4年次 藤本瑠奈



全日本学生テニス選手権大会
女子シングルス出場
人間科学部こども学科 1年次 関野未知留



★ YouTubeでゼミ紹介配信

大学3年次より始まる経済学部の必修科目「専門ゼミナール」。2年次が次年度所属ゼミの選択に際し、先輩ゼミ生から研究テーマや活動内容等を直接聞くことができるイベントを学友会執行部が企画しました。

例年は学生ホールでブースを設け、対面方式で実施していたこの企画ですが、今年度は新型コロナウイルスの影響により実施することができませんでした。それでも後輩学生には「自分にあったゼミ選びをしてほしい」という思いから学友会執行部がYouTubeチャンネルを開設し、動画のコメント欄やメール等を活用できるようなツールを構築しました。

★ [Sei-Tan Act!] 着物で街巡り＆水引体験

小春日和に恵まれ、Sei-Tan Act! 企画「着物で街巡り＆水引体験 in 金沢」が実施されました。

参加学生は、はじめて結う水引に戸惑いながらも、講師の先生方に親切な手ほどきを受けました。

また、ビストロでランチをした後、製作した水引をアクセントに艶やかな着物を身にまとい、東山茶屋街や浅野川沿いを散策。宇多須神社と七つ橋で多くの願いを奉げました。



岸本ゼミで やること



★ [Sei-Tan Act!] 文化体験 in ゆのくにの森

Sei-Tan Act! 第二弾企画「文化体験 in ゆのくにの森」が実施されました。日本の原風景が感じられる緑豊かな村内で、参加学生は「沈金」と「オルゴール装飾」から1つを選択し体験。職人さんやスタッフの方に創作のポイントを教わりながら、自分だけの箸とオルゴールを完成させました。

昼食後は参加者全員で「金箔貼り」を体験。石川県が全国に誇る金箔金箔の魅力に触れながら、きらびやかな装飾に挑戦しました。北陸の冬らしい天候での開催でしたが、村内の散策も楽しみながら伝統文化を学ぶ素敵な時間になりました。



Plus Ultra 計画

9月28日(月)より3日間の日程で、「Plus Ultra」と題して

学年ごとに体育大会・遠足・星稜祭を実施しました。

本計画は、コロナ禍の今、生徒全員で困難を乗り越えようと計画されました。

高 3年生からスタート!

第59回星稜祭開幕!【星稜革命・きらりんレボリューション】
—笑顔の密で乗り越えよう—

高校生活最後の文化祭を、最高の思い出にしようと一生懸命準備を重ねてきた星稜祭実行委員会によるオープニングで、一気にボルテージが上がりました。吉本芸人 ONLINE LIVE や、文化部発表、クラス発表、ビンゴ大会など、数々の企画も、例年と遜色ない盛り上がりとなり、コースの垣根を超えて笑顔の輪が広がりました。



高 2年生 星稜祭

学年全員で作成した手形アートを、各クラスごとに色付けし、実行委員会が繋ぎ合わせ、縦2m、横6mの巨大な作品を完成させました。ステージでは、吉本芸人による ONLINE LIVE をはじめ、クラス対抗のゲーム、文化部の発表、有志による歌やダンスなどが繰り広げられ、会場は笑顔の渦に包まれていました。



高 1年生 星稜祭

1年生実行委員会が初めて企画・演出をした素晴らしいオープニングが始まり、吉本芸人による ONLINE LIVE や文化部の発表、クイズやビンゴゲームなどで盛り上がりしました。趣向を凝らしたクラス対抗のダンスで会場のテンションも最高潮に達し、「笑顔の密で乗り越えよう」のスローガンどおり、最高の笑顔が溢れる1日となりました。



高 3年生 体育大会

高校生活最後の体育祭を最高の場所で最高の仲間と共有できて、とても生き生きとしていました。競技はバレーボールとバドミントンでクラス一丸となり熱い戦いが繰り広げられていました。学年全体での集合写真も撮影することができ、思い出になったことと思います。



高 2年生 体育大会

遠足と星稜祭で培ってきた仲間との絆を、バレーボールを通して発揮してくれました。仲間の懸命なプレーを自分のことのように喜んでいて顔が印象的でした。感染症予防対策をしながらも生徒達の心や気持ちはしっかりと繋がりました。



高 1年生 体育大会

いしかわ総合スポーツセンターで行われた体育大会は、感染症対策をしっかりと行い、広々とした快適な会場それぞれのクラスが一丸となってバレーボールを楽しみ、熱気に満ちた試合を繰り広げました。



高 3年生 遠足

今年度始めの休校により、例年撮影しているクラス写真が撮影できずにここまででしたが、金沢城公園にようやく撮影することができました。金沢市内の散策では、金澤神社で合格祈願をしたり、ひがし茶屋街でスイーツを堪能したりと、秋晴れの空のもと各々の過ごし方をしました。友人達と改めて城下町の風情を堪能する高校生活最後の行事となりました。



高 2年生 金沢の伝統や文化に触れる遠足

A コースは近代文学館や歴史博物館などを回りました。また、B コースは観光物産館でクラスごとに和菓子作りや加賀八幡起き上げりの手描き、金箔貼りなどの伝統工芸を体験しました。そしてP コースは金沢駅から徒歩で金沢港へ向かい、タミナルを見学しました。清々しい秋空の下、クラスの親睦を深める1日となりました。



高 1年生 遠足で金沢市内を散策

各クラス班ごとに分かれ、事前に調べた金沢市の歴史や伝統を体験してきました。金箔さくだ本店では金箔貼り体験、観光物産館では和菓子作りや加賀八幡起き上げりの手描きの伝統工芸に挑戦しました。天候にも恵まれ、朝から笑顔で集合した生徒達はクラスの仲間と充実した時間を過ごすことができました。



中高 避難訓練

10月23日(金)、星稜中学・高等学校の全生徒を対象に、火災発生を想定した避難訓練を実施しました。雨天のため警報および放送に関する確認訓練となりましたが、生徒達は緊張感を持って取り組むことができました。災害が起こらないことが何よりですが、万が一災害が起こった際に迅速に対応する防災意識を再確認できた、よい訓練となりました。



中 運動会

9月28日(月)、第一体育館にて運動会を実施しました。マスクや軍手を着用しながら、午前中のみ開催となりましたが、例年とは違う形式で行われた5つの種目で熱戦が繰り広げられました。今年度は多くの学校行事が中止や延期となっている中、そのうっすらと晴らすかのよう、すばらしい笑顔で、仲間とのかげがえの時間を過ごすことができました。



中 奥卯辰山健民公園へ遠足

9月29日(火)、奥卯辰山健民公園へ遠足に行きました。公園内では、縦割りの25班に分かれて、地図を見ながら公園内に設置された8つのポイントにある問題をクリアし、どのチームが一番早く帰ってくるかを競い合うウォークラリーを行いました。頭脳と体力を駆使し、学年の枠を超えた各班内でコミュニケーションが深まり、自然とチームワークが生まれるなど、楽しい時間を過ごすことができました。



中 1年生 イングリッシュキャンプを行いました！

9月30日(水)、1年生は本校にてイングリッシュキャンプを行いました。今年度は、外国人講師の方々とオンラインで交流することとなり、初めは緊張した様子の生徒達でしたが、徐々に笑顔も増え、最後には英語で生き生きと話をしていました。また、日本や金沢についてのプレゼンテーションでは、これまでに調べてまとめた資料をもとにして、ペアで協力し合い、一生懸命発表していました。



中 漢字検定

11月6日(金)、本校にて漢字検定を実施しました。生徒達は自分で受検する級を決め、合格という目標に向かって夏休み前から勉強を重ねてきました。検定中は終始程よい緊張感で、一生懸命鉛筆を動かしたり真剣な面持ちで答案を見直したりする姿が見られました。



中 1年生 いしかわ動物園

10月31日(土)、いしかわ動物園にて調査実習を行いました。職員の方による講話では、「人と動物と環境にやさしい動物園」としてさまざまな取り組みをしているいしかわ動物園の歴史や役割について深く学びました。また、生徒達は、事前に設定された課題に沿って、さまざまな動物達を観察したり写真に撮ったりするなど、時間を目一杯使い、生き生きと活動していました。



中 3年生 薬学部実習体験

10月31日(土)、北陸大学薬学部に行ってきました。薬学部の先生による講演「キャリアデザインセンスを磨こう」では、自分の夢の実現のために自分が頑張れる力を大切にする、変化に対応できる力を身につけることの大切さを学びました。卒業生の先輩方に進路について聞く機会もあり、実習体験では医療器具に実際に触れて医療人としての心構えなどを感じ取ることができ、将来に向けて視野を広げる良い経験となりました。



中 2年生 CMづくり

10月31日(土)、キャリアプログラムの一環として、森本商店街の店舗CM発表会を行いました。9月に行ったインタビューをもとに、お店のすばらしさや商店街のあたたかさを多くの人に伝えることを目標として、生徒達はCMを作成しました。学年全体による発表後には「また商店街に行きたいね」という生徒の声が聞こえてきました。森本商店街の皆様、本当にありがとうございました！



中 インフルエンザ 予防接種

11月20日(金)、希望者によるインフルエンザの予防接種を行いました。生徒達はうがい手洗いなどに一層励んでいこうと、予防活動の大切さを再認識していました。また、本校の安全の取り組みである「safety first」を引き続き行い、生徒に安全に学校生活を送っていただける環境づくりに励んでいきます。



★「税についての作文」
4名が優秀作品に選出されました！

令和2年度中学生「税についての作文」に応募し、2年生高坂侑未さんの「納税に対する思い」が金沢税務署長賞、1年生内湯佳奈さんの「税と私」が石川県納税貯蓄組合連合会長賞、2年生細田友梨さんの「笑顔を守るために」が金沢地区納税貯蓄組合連合会長賞、2年生石川大晴くんの「税金は必要なのか考えてみた」が金沢青色申告会長賞をそれぞれ受賞しました。社会貢献について深く考える素晴らしい機会となりました。



★3年生細川さん英検準1級に合格

3年生中高一貫理数コースの細川すみれさんが、合格率約16%と言われる難関の英検準1級に見事合格しました！合格証を手笑顔の細川さんに勉強のコツを聞いたところ、毎日の単語学習と英文の演習が大切とのことでした。



★金沢東ジュニアイーグル隊
委嘱状交付式が行われました

11月24日(火)、本校にて金沢東ジュニアイーグル隊委嘱状交付式が行われました。金沢東警察署の久田悦弘署長から委嘱状を受け取った生活委員の生徒達は、地域の防犯への貢献を誓いました。今後、登校時のあいさつ運動や自転車マナー向上を呼び掛ける予定となっています。



★高 9月からの主な部活動成績等

【星稜高等学校】

2020JCSPAジュニアサイクルスポーツ大会全国大会

- 500mタイムトライアル ・第1位 又多 風緑

第57回全日本トランポリン競技選手権大会

- シンクロナイズ競技男子 ・第4位 秦 颯士、豊後 輝道

令和2年度石川県高等学校総合体育大会

男子第71回全国高等学校駅伝競走大会石川県予選会

- ・第2位
- 第1区(10km) ・区間賞 吉田 武司

令和2年度石川県高等学校総合体育大会

女子第32回全国高等学校駅伝競走大会石川県予選会

- ・第1位 大塚 明実、谷口 ゆき、平野 華
- 三谷 優依、荒木 瑞帆(全国大会出場決定)
- 第1区(6km) ・区間賞 大塚 明実
- 第3区(3km) ・区間賞 平野 華
- 第5区(5km) ・区間賞 荒木 瑞帆

第99回全国高等学校サッカー選手権大会石川県大会

- ・優勝(全国大会出場決定)
- ・MVP・得点王 佐々木 真之介
- ・アシスト王 川本 虎太郎
- ・優秀選手 佐々木 真之介、千葉 大護、廣島 大雅
- 中村 領優、川本 虎太郎、今村 健人
- 西尾 友希、山内 友登

第29回全日本高等学校女子サッカー選手権石川県大会

- ・優勝

令和2年度石川県高等学校新人体育大会

弓道競技

- 個人男子の部 ・第3位 川端 晃
- 団体女子の部 ・優勝 平田 優衣、長田 美潤
- 市井 那奈、牧口 遥
- 高木 こころ(全国大会出場決定)

体操競技

- 女子個人総合 ・優勝 武谷 珠穂呂

自転車競技選手権大会

- 2kmインデビデュアルバースト ・第1位 山本 悠花
- 500mタイムトライアル ・第2位 山本 悠花

バスケットボール競技

- 男子 ・第3位

サッカー競技

- 男子 ・優勝
- 女子 ・優勝

令和2年度全国高等学校選抜レスリング北信越大会

- 個人対抗戦(125kg級) ・第1位 山本 無量(全国大会出場決定)
- 個人対抗戦(65kg級) ・第3位 嶋 大河(全国大会出場決定)

第25回北信越高等学校新人陸上競技大会

- 男子110mハードル ・第3位 上出 隼司
- 女子5000m競歩 ・第2位 宇都宮 彩乃
- 女子棒高跳 ・女子三段跳 ・第3位 東 愛花

第39回北信越高等学校新人男子大会

- ソフトボール ・準優勝

第143回北信越地区高等学校野球石川県大会

- ・優勝

第23回石川県高等学校新人ゴルフ選手権大会

- 男子個人 ・第2位 安田 和真

第28回石川県高等学校野球1年生大会

- ・準優勝

第10回北信越高等学校弓道新人大会

- 男子団体 ・第3位 竹田 京平、開 千珠
- 川端 晃、藏谷 周生

第29回全国高等学校文化連盟将棋新人大会石川県大会

- 女子の部 ・優勝 北山 佳奈(全国大会出場決定)

第40回石川県高等学校囲碁秋季大会

- Aリーグ ・第2位 田中 悠大
- Bリーグ ・優勝 北井 陸人
- 男子団体戦 ・優勝 田中 悠大、北井 陸人、新木 遥満
- Aリーグ ・第3位 本澤 晴菜
- 女子団体戦 ・優勝 本澤 晴菜、福田 有紗、二木 綺琉

令和2年度石川県高等学校かるた選手権大会

- Ⅲ部A組 ・第2位 北 佳恵
- Ⅱ部B組 ・第3位 米島 夕貴

令和3年度全国総合文化祭出場校選考会

- 邦楽部箏曲部門 ・最優秀賞(全国大会出場決定)

【星稜中学校】

金沢市中学校陸上競技大会

- 女子1年100m ・第2位 若松 愛奈
- 男子1年1500m ・第3位 高坂 亮栄

第8回石川県中学校ゴルフ選手権大会

- 男子個人の部 ・第2位 石川 大晴

石川県野球協会会長旗争奪第21回中学校野球選手権大会

- ・優勝(全国大会出場決定)

第20回石川県中学校新人サッカー大会

- ・優勝

金沢市中学校新人駅伝競技大会

- 女子個人の部 ・第2位 木下 奈南
- 女子団体の部 ・第2位 木下 奈南、稲田 椿
- 澤飯 柚月、五所村 アコ

★幼稚園
★遊び★

経験したことがもとになり、ごっこ遊びが始まる
ことがあります。

年長児のつき組では回転寿司を食べに行つた経験から本物さながらのお寿司屋さんとなつて遊びが繰り広げられました。お寿司や看板を作つたり、メニュー、テイクアウト用のケースもあり、割烹着と帽子姿の子はお寿司屋さんになりきっていました。主体的な遊びは子ども達が「したい！」と思つたタイミングで教育的意図をもつて時間、空間、素材を準備し遊びを広げ継続していきます。子ども達の興味や関心、主体的な遊びのイメージに敏感であることが大切になっています。



★子育て支援★
★星稜子育てステーション★

星稜幼稚園では未就園児親子を対象に毎月子育てステーションを行っています。親子で自由に遊んだり、手遊び歌や体操、保育教諭が絵本の読み聞かせをしたりしています。明るく開放的な雰囲気の中で他の親子と関わったり、発達に合ったおもちゃや絵本を楽しみながら子育てにおける様々なことを共感しあい、子育ての楽しさや喜びを感じていただけるよう応援しています。



★食育★

年長児が昨年仕込んだ味噌が熟成期間を終え、毎日の給食で使われています。秋の収穫祭では掘ってきたサツマイモと一緒にさつま汁として登場しました。年長児は食育活動として星稜幼稚園の栄養士による「おまめのおはなし」と題した、たんばく質豊富でバランス栄養食品大豆の話を聞き、出来上がった味噌を見せられました。給食室では毎日の献立やおいしい給食の提供はもちろん、野菜など食材の紹介や、そら豆やとうもろこしの皮むきなど季節ごとの食育活動を行っています。



★プログラミング教室★

金沢星稜大学「キッズプログラミングアカデミー」の学生による年長児対象の「プログラミング教室」が行われています。プログラミング学習の教材「Ozobot」を使い、遊びながらプログラミング的思考力を養成することがねらいです。5回の教室でプログラミングにより「Ozobot」がゴミを拾い、ゴミ箱までもっていくというところまで進みます。子ども達は、楽しみながらこれからの社会で求められるスキルや考え方を学んでいます。



☆うんどうかい☆

年中児と年長児は稲置学園総合運動場で学年ごとに運動会を行いました。年中児は体操、個人走、親子競技、ダンスではポンポンを手に元気な姿を披露しました。年長児は体操、個人走に加え、息の合ったバラバールンを披露。クラス対抗リレーでは友だちと心を一つに一生懸命にバトンをつなぐ姿にたくさんの拍手が送られました。年少児は内川スポーツ広場にて親子で運動遊びを楽しみました。「よいドン」でおうちの人のところまで走ったり、一緒に体操をしたり終始笑顔が溢れていました。



☆クリスマスパーティー☆

金沢星稜大学との連携で人間科学部こども学科の3年次がクリスマスパーティーを企画してくれました。年中児が大型絵本やクイズ、「赤鼻のトナカイ」のダンスを学生と一緒に楽しみ、手作りのプレゼントももらいクリスマス気分満載のひと時を過ごしました。



☆表現会&保育参加☆

表現会をクラスごとに星稜幼稚園ブレイルムで行いました。日ごろ子ども達が興味を持ち楽しんでいることをもとに皆で作りに上げたショーや劇あそび、歌や楽器あそび、ダンスなどを披露しました。ステージ上でも密にならないよう配慮するなど例年とは少し違ったスタイルでの開催でしたが、かわいい姿や頑張る姿にたくさんの拍手が送られました。ステージも観客席も終始あたたかい笑顔に包まれ、今年の表現会はアットホームな雰囲気になりました。発表の後は製作やゲームなどを親子で楽しみました。



☆誕生会☆

誕生児がいる月にお誕生会をしています。保育士が歌う「ハッピーバースデー」に合わせて手をパチパチたたいたり、一緒に歌ったり、誕生児が好きな絵本を見たりして1つ大きくなったお祝いをします。小さいながらも「おめでとう」の気持ちをもち、楽しい雰囲気を味わっています。



園 幼 野 泉 柳
☆秋まつり☆

新型コロナウイルスの収束を願って、今年初めて年長児が秋まつりをしました。

園庭で、「ドンドンドンドン」と太鼓の音が響き渡り、周りで見ている子ども達や保護者の皆様から大きな拍手をもらい、秋まつりが始まりました。パレードではボンボンを持ったチアリーダーの子ども達を先頭に、みんなで作ったおみこし、そして太鼓と続き、ご近所さんを練り歩きました。「ドンドン」「わっしょい」とにぎやかな掛け声で、まるで小さな百万石まつりのようでした。



☆運動会☆

金沢市総合体育館で、学年ごとに運動会を行いました。

年少児はかわいいパンダに変身し、嬉しそうにダンスをしていました。年中児はドングリで作ったマラカスでダンス。いい音が鳴りにぎやかでした。年長児の競技で力が入ったのはリレー！毎日、勝ったり負けたりしながらクラスごとに作戦を立ててきたため、子どもも大人も熱が入ります。アンカーの友達がゴールをする



と、勝ったクラスも負けたクラスも最後までバトンをつないだ達成感が、子ども達の様子から伝わってきました。

コロナ禍でも、皆さんのご協力のもと、楽しい運動会になりました。



☆紙漉き体験☆

年長児が二俣和紙職人（石川県伝統工芸士の齋藤博さんの工房で、紙漉きを体験しました。二俣和紙は、1300年の歴史を持ち、当園の修了証書も齋藤さんに漉いていただいた和紙を使用しています。

乾いたコウソの皮や水の中でドロドロになったコウソを触らせてもらい、普段使う紙の状態と違うことにびっくりしていました。紙を漉くための枠を持ってとろっとする水の中に手を入れると、「冷たい」と言いながら、慎重に揺らしていました。

出来上がった和紙は、保護者を招いて行うお茶会の招待状に使用する予定です。



☆プログラミング教室に参加☆

年長児が、金沢星稜大学人間科学部こども学科2年次の学生達と一緒に、小型ロボット「Ozobot」を動かす体験をしました。

プログラミング教室は、全5回を予定しています。毎回、SOOSの中から「水を貯める」などの環境問題を取り上げながら、ゴールに向けて自分達で線を書いたり矢印シールを使い、ロボットが動く楽しさや思い通りに動かすことの難しさを体験します。

どのようにしたら上手く進むかを友達と繰り返し取り組み、順序だてて考える「プログラミング的思考」を楽しみながら学ぶ第一歩になっています。



☆リトミック☆

近年、歩くことが減っている子ども達。特に片足立ちやスキップなどバランスや足の力が弱くなっている傾向が見られます。

園では、年少児が金沢星稜大学人間科学部こども学科の連先生の指導の下、リトミック活動を取り入れています。リトミックは音楽的発達のみならず、身体的発達を促すことを目的にしています。そこで今回は、3年次の学生達と年中児が、一緒に音楽に合わせて飛んだり跳ねたりし、リトミックを楽しみました。靴下も立ったまま着脱できるようになったらしいな。



☆小さな発表会☆

3日間にわたり、学年ごとに小さな発表会を園のプレイルームで行いました。

短い時間でしたが、保護者の方達から、お子さんの成長を感じたという感想がたくさん聞かれました。また、「コロナ禍の中で開催していた

だいたことに感謝しています。」という声も聞かれました。子ども達もマスクをつけての演技でしたが、大きな声でのびのびとした姿に、私達職員も感動した1日でした。



さんしんで活躍する 「星稜」の卒業生



金沢信用金庫 浅野川・武蔵エリア
支店長代理 法人営業リーダー
西村 大輔
(星稜高等学校 第43期卒)

「人との出会い」を大切に、 自らが成長できる環境です。

私は平成19年3月に星稜高等学校を卒業、平成23年4月に金沢信用金庫に入庫し今年で10年目になります。これまで西金沢支店、栗崎支店、小松中央支店での勤務を経て、現在は浅野川・武蔵エリアで勤務しております。

私は大学時代の4年間を県外で過ごしましたが、その際に改めて地元・金沢の素晴らしさに気づき、Uターン就職を決めました。当時は金融という業種を志望していた訳ではなく「地元」の役に立ちたい」との想いを胸に就職活動をしていました。その際、金沢信用金庫の経営理念の1つである「金融という仕事を通して地域経済

の発展に貢献する」というフレーズに共感し、入庫を志望したことを覚えています。

在学生の皆さんは、金融業に対してどのようなイメージを抱いていますか。金融という仕事は非常に奥が深くやりがいがあります。単に法人や個人事業主のお客さまには事業性融資を、個人のお客さまには消費者金融等との融資業務を行うだけではなく、お取引先のお客さまが抱える経営課題の解決をお手伝いさせて頂くことや、お客さまのライフステージに応じた資産運用のご提案を行うなど多岐に渡ります。

このように金融という仕事はお客さまと深く深く関わることが出来ます。私が仕事を行う上で一番大切にしていることは「人との出会い」です。仕事を通じて小売業・製造業・建設業など様々な業種のお客さまと出会います。これは金融マンとしての特権であり、その出会いによって自身が人として成長していると感じています。

在学生の皆さんも先生方、共に学ぶ仲間など人との出会いがあると思います。その出会いは社会に出てから必ず活かしてきます。楽しい事、辛いことを共に経験できる出会いは一生の宝になります。私も在学中に「建学の精神」を学ぶ中で、人との出会いの大切さに気づき、今日の自分があると感じています。コロナ禍で様々な制約・制限がありますが、自分の周りの人々への感謝を忘れずに、悔いのない学生時代を満喫して下さい。



職員と家族の幸せ ＝ さんしんの幸せ

職員一人ひとりがキャリアアップを通してやりがいを感じ、家族と過ごす時間を大切にするのがさんしんの思い。そして、職員と家族の幸せこそがさんしんの幸せ。



さんしん

さんしん 採用



総合研究所・ 地域連携センター だより



Matching HUB

Kanazawa 2020に出席

地域連携センター、
「星稜ジャンプ地域活動プロジェクト
(ちいプロ) 2020」6団体

北陸先端科学技術大学院大学産学官連携本部主催の Matching HUB Kanazawa 2020 が、11月6日(金) A N A クラウンプラザホテル金沢で開催されました。本イベントに「金沢星稜大学地域連携センター」として、本学の学生や教員が取組んでいる地域での活動についてパネル展示等で紹介を行いました。また、当日は星稜ジャンプ地域活動プロジェクト 2020 (通称: ちいプロ) に採択された6団体の学生達がブースに立ち、来場者へ各団体が取り組んでいる活動について紹介しました。

本学の活動を周知するとともに、参加した学生団体にとっても自分達の活動を他者へ伝えたり、企業や地方自治体・他大学のブース訪問等を通して新たな知見を取り入れる機会となり、更なる活動へと繋がりました。



地域連携センター

活動中の主な事業

ビジネスアイデア・プランコンペティション (M-BIP)で複数受賞

川澄ゼミナール(経済学部3年次)

「持続可能な観光地域づくりの方法論」を学ぶ学生達が「アプリケーション開発による更なる観光誘致と持続可能な地域経営: 消滅可能性都市から持続可能な地域へ」と題して Matching HUB Kanazawa 2020 の一環である M-BIP (Matching HUB Business Idea & Plan competition) へ応募しました。その結果、ISICO賞、テレコムサービス協会賞、オーディエンス賞を受賞しました。また、テレコムサービス協会賞副賞のテレコムサービス協会主催のビジネスコンテスト(H-I-T)への参加も行い H-I-T 2020 実行委員会奨励賞を受賞しました。

受賞した学生は、「資料作りやプレゼンテーション方法など、自分達で何度も考え直したり練習したことで、今後のプレゼンテーションや就職活動への自信につながりました」と話しており、今後の学びに繋がる機会となりました。



山中温泉の ブランドディング研究

野口ゼミナール(経済学部3年次)

コロナ禍で観光従事者が目先の対応に追われる中、北陸新幹線の敦賀延伸を見据え、山中温泉のブランドディングに取り組みました。今後、県内外から観光客を集めるためには、「山中温泉といえは〇〇」というブランドイメージを確立する必要があります。そのために、学生達は観光協会、観光客、地域住民、そして石川県民に対する大規模なブランド調査を実施し、計600人以上からデータを採取しました。また、これらの活動は県内メディアからの反響も大きいものでした。

今後は、データ分析結果を関係団体に報告し、継続的に連携活動を行っていく予定です。



スマートグラスによる

ARを活用した、まちなか空間の有効活用方策に関する調査検討

岡ゼミナール(経済学部3年次)

10月24日(土)、地下歩道「むさしクロスピア」(金沢市武蔵ヶ辻) 周辺でフィールド活動を実施しました。EPSON社のスマートグラスを使用し、実際の道路空間や地下空間に、そこには存在しないオーブンテラス、アクアリウム、絵、オブジェ、照明などアートの画像を重ね合わせる「AR(拡張現実感)」の活用を試みることで、道路空間の規制緩和(道路占用許可の緩和)が地域やビジネスにもたらすメリットを学生の自由な視点で考えました。

今回のゼミ活動は、金沢中心商店街武蔵活性化協議会と本学の地域連携協定に基づく産学連携の一環で行ったものです。

今後も、ソーシャルディスタンスに配慮した「観察調査」をフィールドワークで活用しながら、他の地域でも「安全・安心な暮らし」と「経済活動」の両立の方法について探る予定です。



「第27回新聞配達に関するエッセーコンテスト」入選!

(高校2年Bコース/サッカー部所属/片口有己くん)

新聞配達にまつわる心温まるエピソードを募集したコンテストの「中学生・高校生部門」において、審査員特別賞を受賞しました。

【本人のコメント】

休校期間中に、Classi(星稜高校が導入しているオンライン教育ツール)にこのコンテストの案内が配信されていたので、交流のある「新聞のおばちゃん」を題材に書いてみました。内容は、小学生の頃から現在までのおばちゃんとの交流と、交流を通じた自分の気持ちを記したものです。入選の知らせを聞いた時は、おばちゃんにも良い報告ができると感じすごく嬉しかったですね。今は新聞よりスマホを見る時間の方が長いですが、新聞には毎日目を通すようにしています。政治の記事にわかりやすい図や表が載っていて、画面が自動で移り変わることもないので、とても見やすいです。地域に密着した話題が多く、自分の身近な人や場所について書いてあり、興味深く読んでいます。スポーツや世の中の出来事など、自分が特に関心を持ったニュースについては新聞が役立っています。

幼稚園児の頃から画用紙に物語を書いて、両親に見せていたそうです。今も国語が好きで、文章を書くことも読むことも好き。自分の思いを上手く表現できた時、文章を書いていて楽しいと感じます。

「新聞のおばちゃん」とは今でも年賀状でやりとりしているのですが、人生の節目には手紙を送っています。おばちゃんの家近くに寄った時は、直接会って話したいですね。自分のことを応援してくれているので、夢を叶えられるように頑張ります!



「第14回金沢文芸館あすなろ青春文学賞」受賞!

(短大部2年/文芸部部長/廣田明優さん)

金沢文芸館の開館1周年を記念して青年世代を対象として創設された文学賞の「短編小説部門」で、奨励賞を受賞しました。

【本人のコメント】

実は高校生の頃も応募していて、高校2年生の時に初めて受賞した賞です。2度目の受賞とはいえ、とても嬉しく思います。もともと物を書くことが好きだった私は、周りから勧められて、昨年文芸部を立ち上げました。活動は不定期で、個々が書いたものをお互いに批評しながら推敲しています。部員は絶賛募集中です。

今回受賞した作品のタイトルは『ジェミニの脱獄』。「子どもが同調圧力から逃れること」が大きなテーマです。主人公は高校生の男子2人。特に今は新型コロナの影響で周りの視線や意見が気になってしまいがちですが、周りの目を気にせずに自分の意志をしっかりと持った人物を描きました。執筆したのは一昨年なので新型コロナがまだ流行する前でしたが、結果的に現在の状況にかなりリンクした内容になっています。文庫本でいえば30ページに満たない文量で、読みやすいと思います。

部活動だけでなく、短大には国語が専門の先生がいって、授業で学んだことも執筆に活かしています。文章力や表現力は社会人となった後もダイレクトに役立つ力だと思います。中には、文芸というと堅苦しいイメージを持つ人がいるかもしれませんが。実際はそんなことはなく、短歌や俳句、詩など様々な形があります。初心者でも一から始められるので、少しでも興味があれば躊躇せず、始めてみることをお勧めします。



稲置学園星稜基金 スポーツ・文化等課外活動支援の給付者 (2020年9月~12月)

大学 【団体】サッカー部

【個人】山口 佳南、男子トランポリン部:上野 隼輔、宮野 冬馬、山田 大翔

女子トランポリン部:谷口 空、坪井 侑奈、硬式テニス部:関野 未知留

高校 【団体】女子陸上競技部、男子サッカー部、女子弓道部

【個人】自転車部:又多 風緑、体操部:武谷 珠穂呂、

男子陸上競技部:高辻 雄乃、女子陸上競技部:谷口 ゆき、荒木 瑞帆、大塚 明実、大塚 葉月

男子トランポリン部:井関 駿太、秦 颯士、豊後 輝道、美田 靖文、伊藤 佑真

女子トランポリン部:木村 心春、池下 かの子、小田原 由佳、元角 沙羽

川村義治 元教授に 金沢星稜大学名誉教授の称号を授与

12月3日(木)、金沢星稜大学名誉教授称号授与式を行い、大学で27年間にわたり英語教育や大学行政の運営等に尽力し、2016年度及び2017年度に人文学部長兼教養教育部長を務めた川村義治元教授に、稲置慎也理事長から称号記と記念品が授与されました。

名誉教授の称号は、長年にわたり大学に勤務し、教育上又は学術研究上、特に功績があった教授に授与されるものです。



三好研一 評議員が 令和2年秋の叙勲「瑞宝双光章」を受章

三好研一評議員が、令和2年秋の叙勲で「瑞宝双光章」を受章しました。

三好評議員は、日本塗装工業会県支部長を務めるとともに、塗装技術の継承に尽力しました。長年にわたり産業振興の分野で研鑽を積んだことが、今回の受賞に繋がりました。

短期大学教育功労者表彰を受賞

11月12日(木)、短期大学教育功労者表彰が行われ、理事で金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部 田辺栄事務局長と源大和幸広報課長の2名が受賞しました。

今回の受賞は、長年にわたり短期大学教育に従事し尽力した功績が、高く評価されたことによるものです。今後の短期大学教育のますますの発展に寄与することが期待されています。

佐々木雅幸 理事が金沢市文化賞を受賞

11月3日(火・祝)、金沢市文化賞の贈呈式が金沢歌劇座で行われ、佐々木雅幸理事が受賞しました。

佐々木理事は、長年にわたり創造都市の研究に従事し、全国各地の取り組みを支援するとともに、金沢市のユネスコ・クラフト創造都市認定やユネスコ創造都市総会の開催などに尽力しました。世界における金沢市のブランド力の向上をはかり、金沢の地域社会の振興と発展に寄与した功績が、今回の受賞に繋がりました。



稲置美弥子 前理事長に 全国私立学校審議会連合会から感謝状を贈呈

10月29日(木)、稲置美弥子前理事長に全国私立学校審議会連合会創立70周年記念感謝状が贈呈されました。

この感謝状は、長年にわたり私立学校審議会委員を務めるとともに、会長として特に功労があったとして贈られたものです。

石川県私立学校 教職員教育功労者表彰を受賞

12月2日(水)、令和2年度私立学校教職員教育功労者知事表彰が石川県地場産業振興センターで行われ、金沢星稜大学 井上好人間科学部教授、金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部事務局 廿日岩均入学課長、星稜高等学校 永松宏之教諭、林和成教諭の4名が表彰されました。

長年にわたり私立学校に勤め、他の模範として認められる優秀な勤務成績を残していることが、今回の受賞に繋がりました。

稲置慎也 理事長を馬場幼稚園の園児が訪問

さわやかな秋晴れの空が広がる11月12日(木)、馬場幼稚園の園児22名が、収穫を祝い、神に感謝を捧げる「収穫感謝礼拝」という行事の一環で、稲置慎也理事長を訪問しました。

6月の「花の日礼拝」の際には、きれいなお花を届けてくれた園児達。今回は、りんごや柿など彩り豊かな果物を稲置理事長に手渡し、透きとおった歌声で賛美歌「かみさまがつくられた」を歌ってくれました。当日は秋晴れとはいえ肌寒い日でしたが、園児達からのすてきな贈り物に、心がほっこりと温まりました。



星稜サ・エ・ラに関するアンケートへのご協力をお願い

締切2/28

いつも『星稜サ・エ・ラ』をご愛読いただき、誠にありがとうございます。毎号の内容に関する皆様からのご意見を「WEBアンケートフォーム」を通じて頂戴し、本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方の中から、抽選で20名様にQUOカード(500円分)をプレゼント。右記QRコードから、アンケートへの回答をお願いいたします。



抽選で20名様に
QUOカードをプレゼント!

行事スケジュール (1月～3月)

※変更の可能性があります。

金沢星稜大学

1	19日(火)	後期授業終了
	20日(水)・21日(木)	補講日
	22日(金)～2月3日(水)	後期末試験期間
2	1日(月)・2日(火)	一般選抜期間(学内立入禁止)
	4日(木)	休業日(10/5授業分)
	6日(土)	卒業研究発表会(人間科学部スポーツ学科)
	8日(月)・9日(火)	後期追試験期間
	12日(金)	卒業研究発表会(人間科学部こども学科)
	15日(月)	3年次専門ゼミプレゼン(経済学部)
	16日(火)	2年次基礎ゼミ発表会(経済学部)
3	17日(水)・18日(木)	後期再試験期間
	26日(金)	休業日(11/3授業分)
	8日(月)	休業日(11/23授業分)
	12日(金)	休業日(1/4授業分)
	19日(金)	学位記授与式

金沢星稜大学女子短期大学部

1	19日(火)	後期授業終了
	20日(水)・21日(木)	補講日
	22日(金)～2月3日(水)	後期末試験期間
2	1日(月)・2日(火)	一般選抜期間(学内立入禁止)
	4日(木)	休業日(10/5授業分)
	8日(月)・9日(火)	後期追試験期間
	17日(水)・18日(木)	後期再試験期間
	26日(金)	休業日(11/3授業分)
	8日(月)	休業日(11/23授業分)
	12日(金)	休業日(1/4授業分)
3	18日(木)	学位記授与式

星稜高等学校

1	6日(水)	始業式
	10日(日)	推薦入試
	14日(木)	推薦入試合格発表
	29日(金)	一般入試
2	5日(金)	3年最終登校日、一般入試合格発表
	1日(月)	同窓会入会式
3	2日(火)	卒業式
	4日(木)・5日(金)	学年末試験
	8日(月)・9日(火)	学年末試験
	19日(金)	終業式

星稜中学校

1	6日(水)	始業式
	9日(土)	入試
	14日(木)	入試合格発表
3	3日(水)～5日(金)	学年末試験
	13日(土)	総合学習発表会
	17日(水)	卒業式
	19日(金)	終業式

あとがき

あけましておめでとうございます。

コロナ禍での年末年始は帰省の自粛や外出を控えるなど、家での過ごし方に工夫を凝らされた方も多いと思います。

今まで当たり前だったことができなくなったり制限をかけられると、どこか苦しい気持ちにもなりますが、その中でも今まで気がつかなかったことに気づけたり、何かできることを一つでも見つけられるなど、決してマイナスばかりではないはず。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、開催が一年延期となった2020年東京オリンピック・パラリンピック。開催される頃にはコロナが終息に向かっていることを願います。

金沢星稜大学 金沢星稜大学女子短期大学部 広報課 北澤詠美子

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

1	8日(金)	始業式
	13日(水)	子育てステーション(0歳児)
	15日(金)・20日(水)・25日(月)	金箔体験(年長)
	18日(月)	リモート参観(いちご組)
	19日(火)	リモート参観(ふたば組)
	20日(水)	子育てステーション(1歳児)
	21日(木)	リモート参観(わかば組)
	22日(金)	誕生会・リモート参観(よつば組)
	26日(火)	避難訓練
	28日(木)	子育てステーション(2歳児)
2	1日(月)	リモート参観(つき組)
	2日(火)	節分の日の集い
	3日(水)	味噌づくり(年中)
	4日(木)	リモート参観(ほし組)
	5日(金)	リモート参観(りす組)
	8日(月)	リモート参観(ばら組)
	10日(水)	リモート参観(うさぎ組)
	12日(金)	避難訓練
	13日(土)	入園説明会
	15日(月)	リモート参観(ゆり組)
3	16日(火)	子育てステーション(0歳)
	18日(木)	子育てステーション(1歳)
	19日(金)	リモート参観(すみれ組)
	25日(木)	誕生会
	子育てステーション(2歳)	
	1日(月)	リモート参観(こども園)
	2日(火)	子育てステーション(0歳)
	4日(木)	避難訓練
	5日(金)	リモート参観(いちご組)
	6日(土)	U-6FC卒部大会
	8日(月)	誕生会・リモート参観(ふたば組)
	9日(火)	リモート参観(よつば組)
	11日(木)	お別れ会
	12日(金)	リモート参観(わかば組)
	13日(土)	卒園式
	16日(火)	子育てステーション(1歳)
	18日(木)	子育てステーション(2歳)
	24日(水)	終業式

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

1	8日(金)	始業式
	13日(水)	避難訓練
	九谷焼茶碗絵付け体験(年長)	
	14日(木)	茶道(年長)・太鼓(年中)
	15日(金)	プログラミング教室(年長)
	子育てひろば(2歳児)	
	18日(月)	参観(りす組)
	19日(火)	子育てひろば(1歳児)
	20日(水)	九谷焼茶碗絵付け体験(年長)
	22日(金)	プログラミング教室(年長)
	25日(月)	茶道(年長)
	リトミック(年中)	
	28日(木)	茶道(年長)
2	1日(月)	茶道(年長)
	4日(木)	お茶会(つき組)
	8日(月)	参観(うさぎ組)
	9日(火)	子育てひろば(1歳児)
	10日(水)	避難訓練
	13日(土)	入園説明会
	18日(木)	お茶会(ほし組)
	22日(月)	子育てひろば(0歳児)
	25日(木)	参観(ばら組)
	26日(金)	参観(すみれ組)
3	5日(金)	お別れ会
	6日(土)	泉野サッカークラブ卒部大会
	13日(土)	卒園式
	17日(水)	避難訓練
	22日(月)	子育てひろば(0歳児)
	23日(火)	子育てひろば(1歳児)
	24日(水)	終業式

Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町丑10番地1
TEL 076-253-3924(代表)(大 学) <http://www.seiryu-u.ac.jp/u/>
(短大部) <http://www.seiryu-u.ac.jp/c/>

星稜高等学校・星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地
TEL 076-252-2237(代表)<http://www.seiryu-hs.jp>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27番地
TEL 076-252-5057(代表)<http://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号
TEL 076-244-5636(代表)<http://kinder.seiryu.jp/izumino/>